

今回の一般質問の状況

(○は今回掲載された質問です)

金城 弘 議員 P-5 ○簡易ハウスについて ○県道104号線について	吉山 盛次郎 議員 P-7 ○指定管理者制度について ○人材育成について ○垂川(タルガワ)の架橋について
植田 良介 議員 P-5 ○団体補助金の交付について 平和行政について	糸数 昭 議員 P-8 ○山田、真栄田生活環境保全林整備事業について
當山 君子 議員 P-6 ○奨学資金貸与について ○観光の振興について ○農林水産業の振興について	仲田 豊 議員 P-9 ○名嘉真地区の橋梁について ○宝くじ収益金の活用について
喜納 正誠 議員 観光振興について 沖縄県のカジノ導入について	山城 郁夫 議員 P-9 ○農道整備について ○環境整備について
長浜 善巳 議員 P-7 ○投票率の向上対策について ○ホームページの利用状況について ○公共施設の建設のあり方について	山内 鈴子 議員 P-10 ○環境美化活動について ○高齢者への援助策について 不妊治療助成への取り組みについて

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。また、村ホームページ(会議録)からも検索できます。

一般質問

Onna Village Assembly

第4回恩納村議会定例会 平成19年6月13日・14日

簡易ハウスについて

金城 弘 議員

北部振興策による北部地区園芸農業活性化事業の予算が打ち切られました。農家の方から、その需要は高いものという意見があります。村独自の事業、国の高率補助などのメニューがあれば考えを求めたい。

農林水産課長(長嶺 勇)

村単事業としては困難である状況です。栽培目標をしっかりと持った方に関しては強い農業づくり交付金というのがあります。

金城 弘

農振協が中心となって、整合性を取りながら、二十年度の予算に農家の声を反映させていたきたい。

県道104号線について

金城 弘

村民の生活道路として利用しているだけに、拡張工事に関する進捗状況についてお伺いします。

建設課長(奥間政勝)

県は用地買収及び物件補償について個別に交渉し、約四割程度の契約が終了している状況です。

金城 弘

立看板を設置し事業概要を村民のための後押しとしてどのように考えているのか。

建設課長(奥間政勝)

事業概要については、工事請負契約が済んだ後に工事区間等々の看板の設置はやるかと考えてます。

植田 良介 議員

団体への補助金交付について

植田 良介

滞納金の徴収方法どう対応されたか。
学校教育課長(大城哲夫) 年二回督促状の送付や電話での督促、家庭訪問の実施等行っております。
當山 君子 今後の措置どう対応されるか。
学校教育課長(大城哲夫) 督促状や電話督促、家庭訪問の回数を多くし、根気強い取り組みと今年は収納に力を入れたい。

植田 良介 純粹にその団体の利益のみを追求するような事業もある。その基準を持たないとだめじゃないか。
教育長(西銘宜寿) 趣旨に沿うように検討したい。

奨学資金貸与について

當山 君子

本年度貸与決定は県内、県外何名か、貸与金額は。
学校教育課長(大城哲夫) 県内二四名、県外一七名、県内一人当たり三〇万円、県外四二万円、合計二四三三万円。

當山 君子

平成一八年度未滞納者は何名か、滞納金額は。
学校教育課長(大城哲夫) 滞納者九二名、金額四三〇四万二〇〇〇円。

當山 君子

恩納村むら興し協議会での恩納村型観光の体制づくりとは。
商工観光課長(名城淳一)

恩納村の観光を総合産業として位置づけ、今年策定した恩納村第二次観光振興計画を中心に観光振興促進部会、地域振興部会、大学院大学協力部会とも連携して、話し合っているかと考えております。

當山 君子

観光の振興について

當山 君子

恩納村むら興し協議会での恩納村型観光の体制づくりとは。
商工観光課長(名城淳一)

三月議会予算特別委員会、本当に必要なものを積み上げて予算を組んでもらいたいと要望した。必要なものを積み上げるためには、事業目的に沿って適正に使われているか点検する必要があり、適正の根拠となる条例や基準がなければならぬ。

村長(志喜屋文康)

具体的な拠出の根拠がつかめないという指摘はそのとおり。目的に各団体の事業内容が合致しているか、有効に活用されているかを精査し、交付が行われるべきだ。団体補助金交付規程は範囲があまりにも大雑把で、補助金交付に関する条例、事業ごとの補助、補助金交付規程等及び各団体補助金交付規程の見直しは、遅くとも新年度までにできるようにやっていきたい。

植田 良介

植田 良介 事業をされている皆さんと行政がやることは違う。行政がすることですから、出来ないことはない。

植田 良介

植田 良介 補助金等の交付に関する条例見ますと、一つ一つの事業

に対して補助金額が決められることになっている。ところが、実際は全事業にまたがる状態で、それが補助金部分なのかわからないのではありませんか。
村長(志喜屋文康) 予算の流れの中で言うところ指摘のとおり。今回見直す場合にはそこも含めて検討し、見直したい。

教育長(西銘宜寿)

婦人会、子供会も会員負担金徴収し、補助金をプラスして運営してますんで、執行できない。

植田 良介

事業をされている皆さんと行政がやることは違う。行政がすることですから、出来ないことはない。

教育長(西銘宜寿)

例えば、一〇の事業があって、これは会費で、これは補助金だけですよという分け方がしにくい。

農林水産業の振興について

質 當山君子

農産物を活かしたうんなブランドを確立するため、加工特産品開発のプロジェクトチームの設置は出来ないか。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

今年先進地の視察研修、女性農業者育成、地産地消活動三年計画を予定している。意欲を持つ団体や人材を育成し、村がそれをバックアップする。

質 當山君子

平成一七年度から三カ年計画で南恩納へ県から地域農業振興総合指導事業導入されており、その事業の進捗状況どうか。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

実施に当たって生産奨励と栽培指導、加工会、販売が大きな目標、村の中で耕作放棄地が多い地域でまず、農業意欲を高めサトウキビ生産組合を設立、今

年一月から耕作対応され、耕作放棄地対策に役立ったと評価している。

長浜 善巳 議員

投票率の向上対策について

質 長浜善巳

本村の投票率の平均は常に県平均以下を低迷、その原因をどう捉えまた投票率の向上対策は。

答 総務課長(石川哲夫)

広報活動、明るい選挙推進協議会、その他青年団にも呼びかけ働きかけをしています。

質 長浜善巳

若い世代に選挙への関心を持ってもらうために、投票立会人を青年層から選任し、広く公募しては。

答 総務課長(石川哲夫)

村民の若い方々を中心に投票立会人をお願いしています。公募による選挙立会人を考えていき

たい。

ホームページの利用状況について

質 長浜善巳

ホームページの利用状況は。

答 総務課長(石川哲夫)

一ヶ月で二万五千件から三万件のアクセスがあり一年間で二十九万件。特に観光情報に関するアクセスが多い。

質 長浜善巳

本村において一日平均八百件の方が訪れている。リニューアルして村の観光地、グルメ、特産品の紹介していくことは。

答 総務課長(石川哲夫)

十月以降からリニューアルの作業を進めたい。気軽にアクセスできるように考えていきます。

質 長浜善巳

ホームページや広報おんなへの有料広告掲載について。

答 総務課長(石川哲夫)

ホームページの広告掲載、広報誌、封筒の広告も含めて各所

管課において検討できないか打診しています。

公共施設の建設のあり方について

質 長浜善巳

これまで博物館、農水産物販売センター等が建設されてきたが公共施設を建設する上で住民の意見、要望は反映されたか。

答 企画課長(外間 毅)

事業内容ごと随時説明会を開催し村民サービスが図れるようにしてきた。

質 長浜善巳

住民や使用者の意見が反映されたか疑問に思う。村民や関係者が直接参加、計画に意見を反映させてはどうか。

答 企画課長(外間 毅)

住民の方々が建設段階から参

吉山 盛次郎 議員

指定管理者制度について

質 吉山盛次郎

指定管理者の選定の方法は公募する施設と公募することがない場合、どのような線引きが行われるのか。

答 総務課長(石川哲夫)

村に代わって地域の活性化に結びつけるかを判断し、公募にするか団体を特定し指定管理者に指定するか考えたい。

質 吉山盛次郎

従前の受託管理者がどう取り扱われるか。

答 社会教育課長(金城忠博)

赤間運動場は職員の継続雇用を指定管理者に協力をお願いしていく。

質 吉山盛次郎

その他施設のスケジュールを具体的に。

答 社会教育課長(金城忠博)

赤間運動公園は平成二〇年の四月。

答 総務課長(石川哲夫)

コミュニティ広場も同じく四月。今後建設される火葬葬祭場は指定管理者制度を導入する。

答 社会教育課長(金城忠博)

博物館は今現在検討しており結論が出次第運営方法について考えます。

質 吉山盛次郎

チェック機能として利用している住民からアンケートを定期的に取り住民の満足度も機能させる必要があると思うが。

答 総務課長(石川哲夫)

年一回、報告をさせて十分それはクリアできる。

人材育成について

質 吉山盛次郎

自前の人材育成をどのように実施されたか。成果及び課題。

答 社会教育課長(金城忠博)

子ども会のジュニアリーダー活動。少年の主張大会。カナダ、アメリカ留学を実施。

答 教育長(西銘宜寿)

今後の課題はボランティアの育成を図り積極的な活用。村内の出身で教員志望の子ども達、教職の臨時をやっている人々が教育委員会の会議室で学習に取り組んでいます。

垂川の架橋について

質 吉山盛次郎

工事の際河川沿いの地権者と取り交わした架橋の建設は履行できるのか。

答 村長(志喜屋文康)

河川沿いに管理用道路を作れないか、地権者の協力のできるか確認し、できない場合に橋を

糸数 昭 議員

山田、真栄田生活環境保全林整備事業について

質 糸数 昭

保安林を整備する目的で平成一五年から平成一七年度までにクラハ海岸から真栄田岬までの遊歩道工事を実施し、完成し現在活用されています。そこで、次の生活環境保全整備事業について伺います。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

保安林に指定され、沿岸の樹林帯は、自然景観と調和した景観を保全するための事業でありました。なお、地域住民においては、植物や景観を鑑賞しながら散策や健康づくりに活用していただく遊歩道であります。

質 系数 昭

現状は清掃もされてなくモクマオウやアダン、その他の樹木で過密な状態にあり自然に触れ合う遊歩道になっていないと思います。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

地域の方々が家族ぐるみで散策できるように、保全については、年三回程度地元の方々に委託管理していただきます。

質 系数 昭

遊歩道は高齢者、障害者やサイクリングコースと位置づけ道幅も考えたか。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

人がすれ違う七五センチぐらい以上ということで、保安林を大事にしなから遊歩道造っていくということ、現状の幅で充分と思っています。

質 系数 昭

大人が歩けない、これでいいのか村長に伺います。

答 村長(志喜屋文康)

遊歩道の中で一部の部分がそ

うだと考えております。その部分については散策できるように考えて行きます。

質 系数 昭

生活環境保全整備事業を活用し自然と触れ合う憩いの場として、レクリエーション施設、グラウンドゴルフ場や公園、キャンプ場などが必要と思えますが村長はどのようにお考えか。

答 村長(志喜屋文康)

真栄田岬活性化事業を活用しながら、この部分がまだ余裕スペースがあれば検討させてもらいます。

仲田 豊 議員

名嘉真地区の橋梁について

質 仲田 豊

地球温暖化、異常気象など環境を取り巻く情勢が世界規模で重視され、いざ災害が発生した場合近くにある避難地も遠回りしなければならぬ。たとえ災害がないとはいえ区民の

生活の利便性を考えるなら集落を流れる長い名嘉真川にもうひとつの橋が必要と思う。平成一七年二月、区民の要望を汲み取り村長に新橋梁早期着工の署名を出した。この件について伺いたい。

①これまでの状況はどうなっているのか。

②メニューはあるのか。

③村の考えはどうか。

答 建設課長(奥間政勝)

①名嘉真川は県管理の河川で、北部土木事務所と協議している状況であり、県は地域防災については村で対応すべきものということで引き続き協議してまいります。

②今のところメニューはなかなかみつからんで検討している。

③状況としては大変厳しい。地域の思いがあるだけに県に対しても粘り強く要請を考慮しており、これからも続けて新たなメニューも含めやっていきたい。

宝くじ収益金の活用について

質 仲田 豊

①沖縄県に交付される宝くじ収益額はいくらか。

②オータムジャンボの収益配分基準はどれだけか。

③サマー、オータムジャンボと同様にできるとした場合の試算は。

答 総務課長(石川哲夫)

①サマー、オータムジャンボ合わせて七億四千万円余。
②均等割、人口割で本村一九九年度分二百三十七万二千円。
③本村には約九百万円余。

質 仲田 豊

県内市町村の標準財政規模の合計額に〇・三%を乗じ残った額は各市町村に配分となっている村長に伺いたい。

答 村長(志喜屋文康)

二年后になる可能性もあり人口割で都市地区に分配金が多くなる。町村会事務局辺りに検討を打診してみたい。

山城 郁夫 議員

農道整備について

質 山城郁夫

役場の下から恩納保育所へ抜ける農道は、幅員が狭く車輛の交差も出来ません。視界も悪く水捌けも悪い状況であり整備する考えはありませんか。

答 農林水産課長(長嶺 勇)

危険性が増していることを実感している。生活環境道路、村道に格上げできないか、関係課と協議を図り効果的な方法を考へて行きたい。

質 山城郁夫

保育所の施設内道路として整備する方法は無いのか。

答 福祉健康課長(平良幸夫)

整備は必要と思っています。ただ施設内道路として整備は無理があり、村道として整備できれば良いと思っています。

質 山城郁夫

村長、村道認定をして整備する考えは無いのか。両課長とも整備の必要性は認めるが、村道認

定をして整備した方が最善という答弁でした。

答 村長(志喜屋文康)

早々に、農水課、企画、建設課、集めてどういうメニューがいいのかを決めて、いいメニューがあれば次年度の事業としてやっていける予算であればやっていく。

環境整備について

質 山城郁夫

うんなナビー生家跡地の横を通る生活排水路が目隠しも無く環境的に悪い。歴史の地として周辺の環境整備には気配りをしていただきたい。整備する考えは無いのか。

答 建設課長(奥間政勝)

転落防止柵は区の方で設置する。それ以上の対策が必要なきは再度、区と調整していきたい。

山内 鈴子 議員

環境美化活動について

質 山内鈴子

各集落の婦人会では花壇づくりを念を入れてますが、散水施設が乏しく植栽した花等の管理に支障をきたしているのが現状です。この活動を支援するため散水施設の設置ができないか伺います。

商工観光課長(名城淳一)

散水施設については地域で対応していただければ助かります。

質 山内鈴子

本末転倒の答弁ではないか。観光立村として村、国道の歩道設備も進む中で美化運動を推進するためには行政当局が地域に協力をお願いして、美化運動強化のために何をすべきかと考えるのが行政当局の本来的姿勢であると考えます。環境美化活動の姿勢等も含めた答弁を賜りたい。

村長(志喜屋文康)

散水施設を全て村が整えるというのではなく、地域の方々が一緒になって協力することが望ましい。

高齢者への援助策について

質 山内鈴子

昨今は少子高齢化に伴い核家族や老人夫婦の家庭も多くなって、老人が老人をケアすることも多くなっています。地域において介護をなさっている方々の尊厳を大切にするために行政からの援助策としてどのような取り組みがなされているのか。

福祉健康課長(平良幸夫)

家庭介護医療、介護用品支給事業、在宅寝たきり老人介護手当、老人福祉医療助成金支給事業等を実施して、介護世帯の負担軽減を図っています。一部費用負担を伴いますが、生きがい活動支援通所事業、地域型ミニデイサービス、外出サービス支援、配食サービス、高齢者等いきいき住宅改造費助成事業、在宅高齢者等緊急通報システム事業を実施しております。給付を受けたら、サービスを利用する場合は条件がございますのでご理解いただきたい。

追跡

基本計画ができて10年 博物館の新たな運営の方向性を考える

この間、博物館の運営や新たな展開、方向性については、たびたび質疑がおこなわれ、その都度、行政は「検討したい」と答弁してきました。その後どうなったのか追跡取材しました。

(記事担当 長浜)

平成17年12月
定例議会一般質問

質問
博物館の方向性、来年度に向けて関係者を集めて検討される考えはありませんか。
村長答弁
次年度、教育長と調整し、会議が開けるか前向きに検討したい。

平成18年3月
定例議会本会議

質問
博物館の方向性について予算的な中身が見えてこないが、新年度に向けて検討されないのか。
村長答弁
まだ、教育長部局と話し合いをしております。新年度からしっかりと検討していきたい。

平成18年9月
定例議会決算特別委員会

質問
博物館の活用のあり方を全庁的に考えていただきたい。
社会教育課長答弁
教育委員、社会教育委員、博物館運営委員で有効活用を検討したい。
総務課長答弁
現状ではよくないと感じている。考え方を根底から変えて、今後、四役会議や課長会、ワーキングチームによる検討をしていきたい。



今回の取材で教育長に聞きました!

- 長 浜 検討されたのですか?
- 教育長 運営委員会で2回検討しました。
- 長 浜 運営方向はできましたか?
- 教育長 博物館法で位置づけられていますから、村直営ということになります。現行どおりの運営が望ましいということです。
- 長 浜 新たな活用方法など、活性化する手立てを考えていますか?
- 教育長 村の歴史や文化、観察会、押し花づくりをします。また、伝統芸能やコンサートの定期開催など、子どもから大人まで参加できるプログラムの充実を図っていきたくと考えています。

編集後記

議員有志を誘い、うんなまつりの準備作業に参加しました。猛暑の中、草刈に汗を流し、まつりの準備の大変さを実感しました。実行委員会のみなさんを中心に、多くの村民がボランティアでまつりの成功を支えてきたことが、とても大切に思えました。なれてくると、当たり前のようになってしまい、対応が実務的になったりすることもあります。一人ひとりがボランティアとして協力し合っていることを、あらためて思う一日となりました。



又吉 貢